

# 深見地区まちづくり便り 大分大学経済学部 田舎で輝き隊！ 農山村未来創造室版

特別号

平成25年9月

発行：深見地区まちづくり協議会  
事務局：宇佐市地域交流ステーション  
TEL：0978-44-4544

はじめまして！  
古市健太郎です！

深見地区の皆さん、初めまして！4月からまちづくり協議会でお世話になっている、古市健太郎（ふるいちけんたろう）です！

鹿児島県の種子島出身の23歳。趣味は野球を中心にスポーツ全般。大分大学経済学部を休学して、まちづくり協議会のスタッフを務めることになりました。

高校時代から地域振興に興味があり、実際に地域に溶け込み活動をしてみたいと考えたからです。今回から、「深見まちづくり便り」を担当することになりました。どうぞよろしくお願ひします！



こんな顔をしています。  
見かけたら気軽に声をかけてください。

大分大学「田舎で輝き隊！」  
とのこれまでの活動

ちよつと長くなりますが、まず僕が深見にきた経緯について説明します。ご存知の方も多いと思いますが、4年前から大分大学経済学部の「田舎で輝き隊！」プロジェクトが深見地区で様々な活動してきました。

ぶどうをテーマに論文を書いたり、深見小の子供たちと合宿をしたり、買い物についてのアンケート調査をしたり、被災地にぶどうを届けたり。

宇佐市と大分大学で  
連携協定を締結

昨年8月には、さらに大分大学との連携を強化するため、大分大学と連携協定を結びました（※）。そして、その活動拠点として、旧深見中学校、現在の「宇佐市地域交流ステーション」を活用することになり、改修工事が行われ、4月にオープンしました。

※厳密には、深見地区まちづくり協議会も参加する「宇佐市地域コミュニケーション組織連絡協議会」と大分大学経済学部との間で協定が締結されました。

宇佐市地域交流ステーション

裏面へ続きます！

農水省の交付金事業に  
採択されました！

大学との連携を強化するために、実は農水省の事業に応募していました。名前は「都市農村共生・対流総合対策交付金」です。長いですね。僕もまだ覚えられません。

5月に応募したのですが、7月に無事内定の通知があり、10月から本格的に動き出す予定で、今いろいろな準備を進めています。

大学との連携強化が  
申請の目的です！

これまで深見まち協では、分大と様々な活動を行ってきましたが、深見が抱える問題をすべて分大がカバーできるわけではありません。そこで、分大に仲介してもらいながら、他の大学や研究機関にもどんどん深見に来てもらい、地域の問題を一緒に考えてもらおう、というのが、今回の交付金の申請内容です。予算は、そのための人件費や移動のレンタカー、講師の招聘などに充ててはどうかというところで、役員の方と一緒に考えています。

深見地区と大学、両方にメリットがある事業に！

学生や研究する先生を誘致するだけでなく、交流ステーションの中で気軽にお茶が飲めるスペースを作ったり、いろいろな勉強会や研修会を行ったりと、皆さんにも日常的にメリットがあるような事業にしたいと思っています。

こんな問題がある、こんな人に来てほしい、などのご要望があれば、お気軽に僕に連絡をいただければと思います。

ご理解・ご協力を  
よろしくお願いします！

なおこの事業は、ほぼ全額を農水省が支援してくれるため、地元の負担はありません。ただ問題がひとつあります。交付金が下りるのは、年度末に事業がすべて終わってからです。運転資金はあらかじめこちらで準備しないといけません。

まち協としても、資金を確保するために、いろいろな方法を考えています。その中で、皆さんにもご理解、ご協力をお願いすることがあると思います。その時はぜひ前向きに考えていただけたらうれしいです。

最後まで読んでいただきありがとうございます。